

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年4月1日

事業所名 こどもプラス唐津第2教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	活動内容に応じてスペースと個室の使用を使い分けている。スペースは広く、活動がしやすくなっている。落ち着ける場所もある。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	2	0	適切に配置している。送迎に回ると足りないと思う時がある。
	3	事業所の設備等について、安全を配慮した措置・バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	4	1	現在、補助を必要とする児童、生徒の利用はないがバリアフリー化は十分ではない。段差がなくフラットなスペースを確保しているが、バリアフリー化はしていない。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	0	・日頃の打ち合わせ、送り、会議含めて職員同士で話し合っ て参画できている。業務改善を進めるために、職員での話し合いを する場を確保している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	1年に1回必ず行っており、保護者の意見を取り入れて業務改善に つなげている。必ず確認し、ミーティング、会議で話し合っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	0	ホームページに掲載されている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	0	4	第三者による外部評価は行っておらず、取り組んでいきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	確保している。その研修で得られた事を活動として実践する事が 課題。テーマをいろいろ変えて研修をしている。机上、実践どちら も行っている。
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	皆でヒヤリングしてアセスメント、案、担会を開き、計画書に反 映して作成している。子どものニーズが上手に聞き取れていなこ ともある。子ども、保護者に聞いた上で適切に計画を作成する。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	1	適応行動状況把握のため、使用する場合と使用しない場面がある ため、使用していく。1人1人に合った支援を状況を見ながら行っ ている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	月1のミーティング、毎日の打ち合わせ等でプログラムを確認、変 更などの作業を行っている。イベントの工夫であったり、それぞ れ意見を出し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	こどもたちの成長と合わせ、好きな事、強み、得意な事もプログ ラムに取り込んでいる。固定化されないよう職員間で話し合いを しながら設定している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	利用時間の長短に合わせて集団、個別で課題を活動にもっときめ 細かく入れていくことが課題。事前にお便りや日程表を配り、1日 の流れを設定している。保護者にもメール等で知らせている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	目標達成できたら、見直しも含め行っている。感染症対策など考 慮して個別の必要性がある場合など対応できる計画を作成してい る。一人一人に合わせた活動を組み合わせで作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	朝のミーティングも含め行っている。新規受け入れの際は、自 宅、学校の確認を含め支援の内容についても確認している。打ち 合わせをしっかりとっており、対応をどうするかなど話し合ってい る。

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	0	子どもの状況、保護者との引き渡しの際の話などを伝えている。情報共有、問題点や改善点について話し合いをしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	必ず記録をとり、口答でも伝えている。次回どのようにしていくかも考えている。出来事について簡潔に記録し職員間でも共有している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	2	0	定期的にモニタリングを行い、必要に応じて見直しを行っている。よりよい支援の具体的な手立てが有る時は皆で実践している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	1	1	基本活動と独自の良さを組み合わせ、支援、活動に繋がっている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	0	管理者が主に参加している。会議の内容はミーティングで共有している。担当者会議等、詳しい情報や内容を知っている職員が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	必ず確認している。何かあった場合、電話連絡ができるよう携帯に入れている。他職員にも共有できるようにしている。天候等で下校時間等が変化した場合、連絡を取り合うようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	3	2	現在、医療的ケアが必要な児童はいないが、受け入れる時は必ず密の連絡を行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	1	保護者にも聞き取りを行い、支援事業所とも連絡を密にとっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	2	2	まだ移行する児童、対象児童はいないが、対象児童がいる場合、必ず情報提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	1	専門機関からの研修日時で都合がつかう場合は受講していきたい。研修を受けるが、数が少ない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	1	近隣の児童館に遊びに行っている。休日を活用して交流を図っていく。児童センターや公園遊びで一緒に過ごすことがある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	1	4	ホームページ等で知り、職員皆に呼び掛けて参加できる様努力する。時間が合わないことも多く直近では参加ができていない。今後積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	利用日毎に職員と保護者様とお話し、伝え合っている。不在の場合はSNSを活用している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	2	子ども、保護者様の理解や積極性等も含め、できる方には伝えていく。必要がある際は、助言等の支援を含め行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	0	見学时、契約時等に説明を行っている。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2	0	個別での対応はもちろん保護者会などで相談を受けて対応している。相談等があった場合、すぐに助言や支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	2	保護者会を1度だけ初めて開催した。まだ不十分であると思うので定期的に行い、保護者との連携を図りたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	0	苦情に対してはしっかり対応している。周知は不十分な所が多い。全職員で気をつけ適切に対応したい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	毎月お便りを発行し、保護者、学校、クラブに渡している。利用される子どもたちのために教室にも行事等貼りだし、利用したいと思えるよう工夫している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	各職員、常に気をつけている。鍵付き書庫を施錠して管理している。取り扱いについて十分に注意して行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	言葉だけでは忘れてしまう可能性もあるため紙に書いて渡したり、毎回メール等で連絡している。児童の言語の習得段階に応じて配慮を行い、お子さんが理解できるようにコミュニケーションをとっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	2	クリスマスイベント等に唐ワンくんを招待したり子供たちが喜びそうなことを計画したりするが、毎回しているわけではない。交流を図れるよう計画に入れていきたい。コロナ禍が落ち着いてから検討したい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	0	・員含め、周知徹底には至っていないので、保護者様の閲覧しやすいうように掲示を工夫する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	訓練を行った様子、内容をコメント静止画で連絡ノートに貼って伝えている。DVDや本を見せて実際に防災頭巾をかぶったり、机の下に潜ったり公園へ避難している。災害の発生に備え、避難訓練等を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	ここからはグレーゾーンでNGということを研修通じて日頃の支援と活動に反映させている。決められた通りに研修を行っている。常に自分を振り返る良い機会である。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	1	2	今現在、当教室には該当する生徒児童はいない。近隣の教室では事例があるので積極的に学習し、支援に生かしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	1	医師の指示書は頂いていないが、保護者様からのアセスメントシート及び食事イベント毎にその情報を共有している。現在、アレルギーを持っている児童はいないが、今後も必要な際は対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	共有しているが、そのヒヤリハット事例集を読み返して活動にあたることを努力する。毎月ヒヤリハットの事例等を含め、話し合いを行っている。